

## 東京都心部での自動運転モビリティサービスの展開を目指し、 帝都自動車交通・国際自動車と基本合意書を締結

Honda の日本におけるモビリティサービス事業運営子会社である、ホンダモビリティソリューションズ株式会社（以下、HMS）は、ハイヤー・タクシーなどの交通事業を行う帝都自動車交通株式会社（以下、帝都自動車交通）ならびに国際自動車株式会社（以下、国際自動車）と、2020年代半ばの東京都心部での自動運転モビリティサービスの提供開始に向け、関連法令やサービス設計、事業者間の役割・責任分担の在り方などについて検討するための基本合意書を締結しました。

Honda は、GM クルーズホールディングス LLC、ゼネラルモーターズ、Honda の3社が共同開発している自動運転モビリティサービス事業専用車両「クルーズ・オリジン」を活用した自動運転モビリティサービスを、2020年代半ばから日本国内で展開することを目指しています。

その事業運営を担う HMS は、新しいオンデマンド型無人移動サービスの提供により、都市部におけるさまざまな交通課題の解決や、お客様・社会に新しい形の利便性・新価値を提供することを目指しています。自動運転モビリティサービスをより安全・安心で、便利・快適なものとして提供できるよう、今回の基本合意に基づき帝都自動車交通・国際自動車と共同で検討を行っていきます。

今後も Honda、ならびに HMS は、交通事業者や自治体などのステークホルダーの皆様との連携を強化するとともに、東京都心部でのサービス開始に向けて、自動運転技術の実証実験などを実施していく予定です。



将来の日本でのクルーズ・オリジン導入イメージ